

辻康介の

ソルミゼーション講座

— 体感音楽史・大阪クラス —

— 2018年合唱コンクール課題曲へのアプローチ —

アンサンブル・クラス

— 声と器楽の混成アンサンブルで

ルネサンス・ポリフォニーを演奏しよう —

— 2018年 シーズン 1 —

5月13日（日）

大阪市立鶴見区民センター 集会室1 にて

11:20-13:20 第4課「節回しとしての旋法」

14:20-16:20 第5課「音階としての旋法」

16:40-18:40 特別講座 2018年合唱コンクール課題曲へのアプローチ

19:00-21:00 第1課「入門：どうして6音なのか」

5月14日（月）

大阪市立大淀コミュニティセンター 第2会議室 にて

11:20-13:20 第6課「雄弁な旋法」

14:20-16:20 第7課「ポリフォニーと旋法」

16:40-18:40 第2課「6音で歌う基礎 1」

19:00-21:00 アンサンブル・クラス（第1回）

講師 辻康介



受講料 1 講座 5,000円

講座当日の事務負担を軽減するため、受講料の事前のお支払いにご協力ください。

事前にお支払い（5月9日（水）正午まで）いただける方は、

☑ クレジットカード、Paypal、銀行振込でお支払いいただけます。（講座当日は現金のみの取り扱いです）

☑ 1シーズンに複数の講座を受講されると、受講料が割引になります。

（2 講座 9,500円 / 3 講座 14,000円 / 4 講座目からは 1 講座あたり 4,000円）

お申し込み・お問い合わせは、坂本音楽スタジオまで。

✉ sakamoto.music.studio.osaka@gmail.com ☎ 090-4492-8765 📧 @sakamotomusicst

特別講座 2018年合唱コンクール課題曲へのアプローチは <http://twipla.jp/events/304394> に、

アンサンブル・クラスは <http://twipla.jp/events/302820> に詳細情報があります。確認のうえお申し込みください。

主催 中世移動ド唱法大阪クラス（ソルミゼーション講座、特別講座）、坂本音楽スタジオ（アンサンブル・クラス）

後援 大阪府合唱連盟

何故六音？－旋法と歌心

講師 辻康介より 大阪講座によせて

「ソルミゼーション」として知られている「シ」のない六音による音階：ut re mi fa sol la だけによる階名唱は、11世紀に遡る元祖階名唱です。この六音階名唱は、1780年頃まで実践されていて、例えばあのJ. S. バッハも六音で歌っていました。この元祖階名唱を身につけるのがこの講座の目的です。

それにしても、何故、今、「シ」の無い六音だけの古い階名唱を実践するのでしょうか？

中世・ルネサンス・バロックといった古い音楽の調べは、後のヨーロッパ音楽の基礎になっています。六音階名唱はこの調べの秘密を解く鍵です。例えば、ある高さの音が、その後に続く音によって、つまり、後に続く音が高いのか低いのかによって、どこか感じが違う、色彩や流れが違う、ということをおぼえて私達は何気なく知っています。元祖階名唱で歌うと、これが明確に説得力を持って分かってくる、古く素朴な旋律に隠された旋律の力を目の当たりに出来ます。これは様々なレベルで演奏や歌唱のヒントになります。

多くの人にとって悩みの種である「旋法」も、六音階名唱で歌いながらとらえなおしてみると、その本当の意味が分かってきます。「旋法」という言葉のもと、当時の人たちは旋律の特徴をあらゆる角度からとらえていますが、その前提は元祖階名唱でした。私達はグレゴリオ聖歌とポリフォニーの時代の音楽の旋律音楽としての魅力を六音階名唱を通して再発見出来るのです。

この講座は、古楽のとりことなり歌い演奏している方々はもちろん、様々な音楽に取り組んでいるすべての方、また、音楽教育に携わる皆さんにとって興味深いものになるでしょう。なにしろ、元祖階名唱という一つの理論的なシステムは「はじめに歌あり」という発想で作られ、歌心に満ちあふれているのです。

ソルミゼーション講座を東京・名古屋・仙台で長らく開講していますが、関西での開講は、中学高校と神戸で過ごし、御影高校合唱部と神戸室内合唱団でルネサンス音楽と出会った私にとって感慨深いものがあります。皆様のご参加をお待ちしています。

会場案内

5月13日（日）

大阪市立鶴見区民センター

<http://turumiwardc-ogbc.jp/>

地下鉄長堀鶴見緑地線「横堤」駅下車すぐ（4番出口と地下で直結）
（大阪駅からは大阪市バス 36系統「門真南」行きに乗り「地下鉄横堤」で下車すると、45分程かかりますが、乗り換えなしで着きます。）

〒538-0052 大阪市鶴見区横堤5-3-15（鶴見区役所西隣）

電話 06-6912-3971

カリキュラム

第1課「入門：どうして6音なのか」

ヘクサコルド、ムタツィオ

※はじめてソルミゼーションを学ぶ方はできるだけ第1課から受講ください。

第2課「6音で歌う基礎 1」

ムタツィオ、ディアペンテ、ディアテッサロン、ラの上のファ

第3課「6音で歌う基礎 2」

ラの上のファ、フィナーリス

第4課「節回しとしての旋法」

フィナーリス、正格、変格、繰り返される音

※アンサンブル・クラスは第4課修了程度の方からを対象としています。

第5課「音階としての旋法」

繰り返される音、12種の音階、ミクストゥス、第1・第2旋法

第6課「雄弁な旋法」

旋律の完全性、コンミクストゥス、第5・第6旋法

第7課「ポリフォニーと旋法 1」

ムジカ・フィクタの#、第7・第8旋法

第8課「ポリフォニーと旋法 2」

カデンツァ、第3・第4旋法

第9課「旋法を見分ける」

応用

第10課「旋法と音楽」

応用

5月14日（月）

大阪市立大淀コミュニティセンター

https://www.osakacommunity.jp/kita/sisetu_b.html

大阪市バス「天神橋筋八丁目」(34,37系統) から徒歩 2 分
地下鉄谷町線・堺筋線、阪急「天神橋筋六丁目」駅下車、北に徒歩 8 分
〒531-0074 大阪市北区本庄東3-8-2

電話 06-6372-0213



辻康介（講師）

ソルミゼーションの研究を行い、東京・名古屋・仙台・大阪で定期講座を開講、フォンス・フローリス古楽院や聖グレゴリオの家で講師を務める。また、日本コダーイ協会、西洋中世学会、法政大学公開シンポジウム、日本合唱指揮者協会、日本合唱連盟、日本音楽学会関東支部や大学や高校教員の研究会などで講座を開いたほか、日本音楽学会全国大会で関連する発表を行なった。国立音楽大学楽理科卒、同音楽研究所修了。97年から4年ほどイタリアに渡り声楽や演奏論を学んだが、2017年10月より再びイタリアに在住、ロベルト・バルコーニに声楽を、ディエゴ・フラテッリにルネサンス・ポリフォニーの演奏法と理論を師事し研究を深めている。

これまでに、様々な楽団を企画・主宰し、演奏活動の中心としている。ネーモ・コンチェルタート nemo concertato ではCD+BOOK「おとなのための俊太郎」(2016年アルテスパブリッシング)をリリース、「SESTETTO VOCALE」は16世紀のマドリガーレを専門とする声楽アンサンブルで、ソルミゼーションを実用・応用している。ソルミゼーション講座受講生による合唱団 Ogmios の指揮者。聖心女子大学グリークラブ常任指揮者。

<https://plaza.rakuten.co.jp/nemotsuji/>



坂本卓也（アンサンブル・クラス アシスタント）

ヴィオラ、バロック・ヴァイオリンを大津睦、J. -Ph. ヴァッサーの各氏に師事。中世音楽理論をルドン絢子氏に学ぶ。ヴィエール（中世フィドル）、バロック／モダン／エレクトリック・ヴァイオリン、ヴィオラを自在に持ち替え、中世、初期バロック、クラシックからポピュラー曲、昭和歌謡まで、幅広く演奏活動を行っている。

「坂本音楽スタジオ」では、大人のアマチュア奏者や身体にトラブルを抱える演奏家のためのメソッドでの指導に力を入れているほか、中世音楽の理論講座やアンサンブル・レッスンを開講し、中世音楽がかかわるさまざまなイベントを企画している。日本中世フィドル協会大阪支部長。

<https://sakamochi.jp/>